

たどり着く子ども達

～自立援助ホームの働き～



自立援助ホームは、義務教育終了後、何らかの理由で家庭にいられなくなったり、また児童養護施設を退所し、働かざるを得なくなった、15歳～20歳までの青少年たちが暮らすところです。青少年たちはスタッフと共に生活しながら、社会で生きていくための準備をします。

現在、全国に213の自立援助ホームがありますが、県内には新潟市の「たいむ」1カ所しかありません。「たいむ」は新潟市内に設立されて10周年を迎えました。10年間の活動を振り返り、その必要性や意義について、さらに、コロナ禍でのご苦勞や今後の課題についてお聞きします。青少年をとりまく社会情勢が一層厳しさを増す今、地域に必要な支援のあり方をともに考えましょう。

入場無料

10月30日(土)

14:00～15:30 (開場 13:45) 定員 25名先着

まちなかキャンパス長岡 302

申込み不要

どうぞどなたでもお越しください

講師：町屋 瑠美子さん

(自立援助ホーム「たいむ」前施設長)

1955年生まれ。大学卒業後、小学校教員として5年勤務。結婚後、長岡と亀田に育児サークルを作り、4人の子育てを約10年満喫する。起業した夫の会社を手伝い、経理事務、広告作成業務を10年。両親の介護を機に介護職10年。その後、空き家になった実家を社会資源にと願い、自立援助ホームの大家となり、施設長も務めた。

この春定年を迎え、後進にバトンを渡した。

※感染症対策として、以下の点にご協力ください。

- 当日、体調の悪い方、体温が37.5度以上ある方は参加いただけません。
- 参加される方はマスクの着用をお願いします。
- 当日は受付時に手指の消毒にご協力ください。

※今後の状況により、講座が中止・延期になる場合があります。長岡市のHPをご確認ください。

お問い合わせ 田中 0258-37-4282

主催 矯風会長岡・第35回ウィルながおかフォーラム実行委員会/長岡市